

令和 2 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,560,685円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		R02下半期	R02上半期	R01下半期	R01上半期	H30下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	3,815	1,692	8,231	11,245	10,317
	移動児童館利用者数	0	0	908	1,065	919
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	0	0	16	※20(17)	※21(19)
	開館日数(単位:日)	150	101	126	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人、非常勤職員4人の合計6人配置(保育士資格は2人、児童厚生員資格は所長を含め4人、教員資格は2人) ※上半期は、非常勤職員が3人だったが下半期は通常の4人で職員6人配置 ③児童センターのお便り「はみんぐ」は、乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布した。(加納西校区自治会回覧・小学校(5校)・聾学校・中学校(1校)・幼稚園・認定こども園(2園)・公民館(4館)・南部コミュニティセンター・南市民健康センター・ドリームシアター岐阜)また、法人のホームページに掲載した。ホームページに母親クラブの活動報告を掲載した。行事変更等は、速やかに本部秘書広報課によりホームページによって利用者に周知した。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、素早い問題の解決に努めた。 来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。アンケート結果は児童センターの廊下に掲示した。 ⑤新型コロナウイルス感染防止対策の為、対策マニュアルに従って計画を実施した。
自主事業・提案事業	—	—

施設管理	<p>①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理</p>	<p>①適切に実施 ②新型コロナウイルス感染防止の為、利用者が使用した玩具はすぐにアルコール消毒を実施した。消毒できないおもちゃに関してはオゾン式保管庫を使用して除菌を行い感染対策を徹底した。毎回の片付け時に破損等の点検を実施した。週2回、就労促進事業清掃班による清掃を実施した。病虫害防除マニュアルに沿って草取りや落ち葉を掃く事で通風や日当たりをよくして環境整備を含め衛生管理に取り組んだ。 ③普段から省エネ(適正室温の設定による節電)や経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検を、年2回行っている。玩具の破損は、おもちゃ病院ぎふに修理依頼した。また、施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理し随時巡回点検を行い、異常箇所の有無確認をしている。</p>
施設修繕	<p>下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備</p>	<p>①ヒヤリハットとして、日頃から職員が危険な箇所を点検し、発見した箇所については、速やかに修繕を実施した。 ②修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出した。</p>
危機管理・法令遵守	<p>①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守</p>	<p>①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施、また、法人内の接遇や個人情報の保護の研修に参加し、伝達講習を行い職員の認識強化を図った。ヒヤリハット記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。毎月、職員が利用者を守る訓練を実施し、自分の命は自分で守るための訓練を行っている。今回は新型コロナウイルス感染防止の為、AED体験等が出来なかったが職員が訓練することで非常時の対応が速やかに出来る。</p>

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 令和2年12月12日～令和3年1月27日 保護者(一般来館・クラブ参加)にアンケート(無記名)を実施。 回答者数87人 【小・中・高校生用アンケート】 令和2年12月27日～令和3年3月4日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者28人(小学:1年3人、2年2人、3年7人、4年1人、5年2人、6年8人、 中学:1年2人、2年3人、3年0人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】加納西(35人) 三里(7人) 厚見(6人) 加納(6人) 茜部(6人) 徹明(6人) 市橋(4人) 市内その他(13人) 市外その他(4人) 【年齢】10代(0%) 20代(7%) 30代(84%) 40代(8%) 50代以上(1%) 【利用頻度】初めて(6%) ほぼ毎日(0%) 週2～3回(2%) 週1回(20%) 2週間に1回(55%) 月1回(15%) その他(2%) 【来館相手】子(99%) 孫(1%) 友人(0%) その他(0%) 【子・孫の年齢】0才(20%) 1才(29%) 2才(30%) 3才以上(21%) 【来館方法】徒歩(38%) 自転車(2%) 自家用車(59%) 公共交通機関(1%) その他(0%) 【何で知った】ホームページ(48%) 広報紙・チラシ(11%) 学校(1%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(28%) ぎふし子育て応援アプリ(2%) ソーシャルメディア(0%) その他(10%)</p> <p>【評価】 (あいさつ)……満足(95%)、ほぼ満足(5%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(94%)、ほぼ満足(5%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(93%)、ほぼ満足(6%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(73%)、ほぼ満足(15%)、普通(9%)、やや不満(3%)、不満(0%) (整理整頓)……満足(100%)、ほぼ満足(0%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感)……満足(87%)、ほぼ満足(10%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気)……満足(88%)、ほぼ満足(11%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【学校名】加納西小(21人) 陽南中(5人) 三里小(2人) 【学年】小学:1年(10%)、2年(7%)、3年(25%)、4年(4%)、5年(7%)、6年(29%) 中学:1年(7%)、2年(11%)、3年(0%) 【利用頻度】初めて(4%)、毎日(0%)、週4・5回(0%)、週2・3回(18%)、週1回(32%)、 その他(46%) 【来館相手】ひとり(18%)、友人(72%)、兄弟姉妹(7%)、父母(3%)、祖父母(0%)、 親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】徒歩(47%)、自転車(47%)、自家用車(6%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】卓球(27%)、けん玉(20%)、ドッジボール(13%)、カードゲーム(10%)、 ボードゲーム(7%)、その他(23%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ・寒い日にマットが敷いてあり嬉しかったです。 ⇒コロナ感染対策の為、厚みが1、5ミリある「ヨガマット」を利用者1組1枚づつ配布して幼児クラブを行っています。換気の為、部屋が寒くなるので、寒さ防止と3密を避けるためでしたが、利用者の方からマットが暖かくていいですとのお声を沢山頂きました。使用したマットは、両面を消毒して片付けています。日々、幼児クラブを開催する上で衛生面に配慮しています。 ・感染対策はとても大切ですが、沢山の玩具で自由に遊べないのが残念です。寒い日や暑い日は外で遊べず、屋内で遊べる場所が近くに無いので、他の児童センターまで出かけています。沢山の玩具で遊べれるようになると嬉しいです。 ⇒玩具が少なく申し訳ありません。新型コロナ防止対策の為、加納児童センターでは、玩具を減らしています。毎日、幼児の玩具を消毒しています。消毒がしにくい人形などは、オゾン式保管庫で除菌をしています。定期的に入れ替えているのでご理解ください。 ・コロナ禍で仕方がないと思いますが、幼児クラブの参加人数を増やしてほしいです。 ⇒現在、幼児クラブは申し込み制です。毎月、待機の方がおみえです。皆さんが参加できるようにするには参加人数を増やすことですが施設の構造上から3密をさける為には現在の人数を増やすことが不可能のようです。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価			
				指定管理者	所管課	評価委員会	
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A	
		区分評価			A		
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		区分評価			A		
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A
⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A	
区分評価				A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A	
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S	
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A	
		区分評価			A		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A	
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A	
		区分評価			A		

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①子育て支援事業 ○令和2年10月から、申し込み制の幼児クラブを開始した。(コロナ禍の中、人数制限と時間短縮で実施した) 来館した利用者には、マスク着用、検温、健康チェック、手指消毒、うがい等のコロナ対策を徹底した。 0歳クラブ(毎週木曜日)…5組、1歳クラブ(毎週火曜日)…10組、2歳クラブ(毎週金曜日)…10組 工作会(第2水曜日)…10組、誕生カード作り(第4水曜日)…10組 ※時間…10:30~11:00(30分間) 毎月、事前に申し込みをしてから幼児クラブを開催した。1組2回まで申し込みが出来るが、毎月申し込み日に定員がいっぱいになり待機が出るクラブがある。申し込み制幼児クラブは、子どもの遊び場として、また、保護者の交流の場として好評を得た。特に、コロナ禍の中、行き場がなく不安に思う保護者にとっては、幼児クラブに参加できて感謝している、嬉しいというアンケート結果報告が出た。 ○コロナ感染防止対策として、幼児クラブの時間に、ヨガマットを参加者1組に1枚ずつ配布し、10組が密にならないように工夫した。遊戯室は建物の構造上、温度が上がりやすく、毎年利用者の方から、寒いという声が上がっていたので、ヨガマットを使用した結果、3密防止だけでなく寒さ防止にも役立った。 ○令和3年3月に、岐阜県レクリエーション推進団体の、「チーム清流ミナモ」の派遣を依頼した。親子で、一緒にミナモダンスを踊ったり、パネルシアターを使って、ミナモとコロナ感染防止対策について考える機会が出来た。わかりやすい内容で好評であった。コロナ対策として、時間は30分、参加人数も10組にして行った。 ○ミナモデザイン利用許諾の許可(県地域振興課)が下りたので、令和3年1月から毎月、児童センターだより(乳幼児用・児童用)に、マスクを付けた「ミナモ画像」を使用して、利用者にマスクの着用を呼びかけている。 ②児童健全育成 ○令和2年12月に、岐阜木育事業として、岐阜県の本を使用した工作「ちよろちゅう作り」を初めて行った。ぎふ木育推進員に来館して頂き、午前は、幼児・保護者、午後は児童を対象に工作の指導をして頂いた。(各8組) 岐阜県の本の話から始まり、木のクイズや絵本の読み聞かせ、最後に自分で作った木の玩具で遊んだ。幼児から大人までが、木に五感で触れた暖かい木育事業であった。 ○新型コロナウイルス感染防止対策の為、下半期も引き続き、人数制限、時間短縮の中で運営にあたった。毎月の行事としては「折り紙教室」「サイエンス遊び」「わくわくスクール」を各定員8組、30分間で行った。「子ども運営委員会」は、小4、小3の女子4人が委員となり、お楽しみ会を企画し最後まで楽しく行った。現在は令和3年度の5月行事「新1年生歓迎会」の準備に取りかかっている。 工作会としては「ポップアップカード作り」を2回行った。参加者が30分間で出来るように準備して行った。 ○コロナ禍の中、異年齢児で個々が遊ぶことが出来る「けん玉遊び」に取り組んでいる。図書学習室に「もしかめ」の回数表を掲示して、出来た回数と名前を表示した。少しずつ参加者が増えてきている。 ○下半期の行事として、卓球やドッジボール、対面して行うカラム、囲碁将棋、オセロなど人気のある遊びが出来なかったことで遊びの場として児童に提供している施設が、余り機能しなかったことが残念であった。 ○前期のアンケートで保護者から、水道で幼児が手を洗いたいが手が届かないという意見があったので市役所に伝えたとこ、11月に蛇口を伸ばして自動水道の工事があり、とても使いやすくなった。直接、蛇口に触れない為コロナ感染予防対策に非常に役立っている。 ○現在、児童センターのホームページに母親クラブの活動を掲載して、お知らせや情報交換、日頃の活動の応援をしている。(三里校区、厚見校区、加納校区、加納西校区、本部)</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○下半期もコロナ禍の中、申し込み制の幼児クラブは取り組むことが出来、保護者から喜ばれて良かった。保護者が家から外出できる取り組みをしたことで、ストレスが少なくなったとの意見を頂いた。 ○上半期の今後の取組の中にあった「わくわくスクール」は、下半期に取り組むことが出来た。毎月第3土曜日の13:30~14:00に実施している。陽南中学校の児童が参加したり、小学生が参加したりして、毎回平均3人程度だが、数独や迷路の用紙3枚程度を30分間でを行い、出来たら講師に見せて答え合わせをしている。 ○館内の研修について、10月から新しく非常勤職員が入ったので、法人の新人研修会にオンラインで参加した内容を参考にしたり、再度、児童館ガイドラインを学ぶことで児童との係わり方が見えてくると思い、職員同士で訓読しあった。今後も、県児連の研修会の資料や法人の研修内容を参考にスキルアップを高めていきたい。 ○下半期はボランティアの方に来館して頂く機会が少なくなった。特に、卓球、カラム、囲碁の講師の方々は、高齢の為、コロナ感染防止を考えて活動が出来なかった。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○コロナ禍の状況のもと、安全・安心を考えた上で、児童センターとしての活動をしっかり見極め精査する。行事のやり方や職員の関わり方を再度考えていく。また、子ども支援としての立場から、来館した1人ひとりの児童達に目を配り、いろいろな経験をさせてあげたい。 ○令和2年度に計画していた行事は、コロナ感染症の為、開催できなかった事も多くあったので、今後は、工夫しながら、行事を開催できるように職員一同で取り組んでいく。(夏祭りなど) ○折り紙教室や、サイエンス遊び、わくわくスクールは、今後も継続して取り組む。 ○母親クラブの育成支援を行ってきたが、上半期は、コロナ感染防止の為出来なかった。下半期の10月頃から不安の中、リモートで活動したり、人数を少なくして活動を行った。公民館が使用禁止の為、活動が出来なかったと各サークルの役員が児童センターに相談に来ていた。今後も、コロナ禍の中、中地域のサークルの役員の方々の力になれるように取り組んでいく。</p>

●所管課の意見

- 新型コロナウイルス感染症対策を策定したマニュアルにそって適正に消毒・換気等を行っており、適切な新型コロナウイルス感染症対策を実施していると考えます。
- 新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中でも、元教員を講師に招いた事業や、県主催の教室など、新たな事業にも取り組んでいる。
- 外部研修、法人研修、施設内研修を複数回実施し、職員の資質向上に努めている。
- 行事内容の変更や母親クラブの情報をホームページに開設し、利用者間同士の交流の場を提供している。
- 地域行事が中止になる中、母親クラブの相談に応じたり、地域の団体から頂いた花を施設前に植える等、地域の連携を深めることができている。
- 事故等の発生も無く、安全安心な施設運営に努めたことは評価したい。
- 職員体制や運営状況については問題なく行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

- コロナ対応をしっかりとした上で、できる限りの利用者の利便性について工夫しているところを評価する。
- 子どもたちが主体的に活動できる場を継続して実施していることを評価する。
- 母親クラブの情報発信を児童センターが助けていることを評価する。
- 新型コロナ対策をしっかりとした上で、利用者の向上と職員の健康について配慮いただきたい。
- 管理運営については適切に運営されている。